



～小児期における主体的医療参加を促す CLS とは？～

“子どもと医療を結ぶプロジェクト” チャイルド・ライフ・スペシャリスト企画 「映画を通して考える、小児期からの慢性疾患との付き合い方」 ご取材のご案内

【日時】 2019年8月30日(金) 17:30～19:15(17:00 受付開始)

【会場】 済生会横浜市東部病院 3階多目的ホール

拝啓 ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院(神奈川県横浜市鶴見区、以下、当院)は、地域の子どもたちを対象として、医療や健康をより身近に捉えてもらう取り組み、「子どもと医療を結ぶプロジェクト」の一環として、2019年8月30日(金)に、こどもセンターと小児肝臓消化器科の共催で「“子どもと医療を結ぶプロジェクト” チャイルド・ライフ・スペシャリスト企画『映画を通して考える、小児期からの慢性疾患との付き合い方』」を開催いたします。

小児期より慢性疾患を持つご家族やお子さん本人にとって、進学、就職、恋愛、結婚、妊娠、出産などのライフステージの変化はその都度、疾患との付き合い方について考える機会でもあります。特に患者数が少ない疾患であるほどロールモデルとなる存在が少なく、お子さん自身が病状を受け入れ、能動的に治療を続けることが難しくなるケースもあります。また、そうした課題についてご家族の中での対処には限界があり、専門的なスタッフによる情報提供および、精神的なサポートが求められています。

チャイルド・ライフ・スペシャリスト(Child Life Specialist: CLS)は、子どもが受け身になりがちな医療の中でも、子ども自身が主体的な存在であり続け、医療体験を上手く乗り越えていけるように、遊びを通じた自己表現や感情表出を促したり、医療体験への心の準備をサポートする専門家であり、医療における子どもたちの心理社会的ニーズを、広く社会に伝えていく役割も担っています。¹

米國小児科学会は、「チャイルド・ライフは質の高い小児医療のために欠かせない要素である」と断言しており、入院している子ども15人に対して1人のCLSを配置することが望ましいと提言しています。¹また、米国においては、CLSの取り組みが、多くの子ども病院や小児科病棟で一般的なものになっています。その一方で、日本でCLSが勤務する施設は33施設45名(2019年8月現在)²にとどまり、取得条件のハードルの高さやCLSが診療報酬の加算にはつながらないことなどが課題となっている中、当院では、日本ではまだ認知の低いCLSを2名配置し、お子さんやご家族の精神的負担へのサポートやお子さんが主体的に治療に専念できる環境を整えております。

今回は、医療における子どもたちの心理社会的ニーズを、広く伝えていくことを目的とし、CLSが所属するこどもセンターと小児肝臓消化器科の共催にて本イベントを企画しました。本企画では、チャイルド・ライフ・スペシャリスト協会会長であり、当院のCLSである井上絵未より、小児医療におけるCLSの役割と重要性についてお話しした後、疾患を抱え、治療を受けながら、ありのままの日常を精一杯生きる子どもたちを描いたドキュメンタリー映画「子どもが教えてくれたこと」を上映いたします。上映終了後には来場メディア向けに登壇者への質疑応答の時間をご用意しております。

ご多忙中とは存じますが、ぜひともご取材を賜りたく、ご案内申し上げます。

敬具

1 出典:チャイルド・ライフ・スペシャリスト協会 HP「CLSとは？」(http://childlifspecialist.jp/?page_id=10)

2 出典:チャイルド・ライフ・スペシャリスト協会 HP「CLS勤務一覧」(http://childlifspecialist.jp/?page_id=917)

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報事務局((株)オズマピーアール内) 担当:白石、津川

TEL:03-4531-0212 FAX:03-6677-1000 Email:healthcare@ozma.co.jp



【開催概要】

■タイトル

“子どもと医療を結ぶプロジェクト”

チャイルド・ライフ・スペシャリスト企画「映画を通して考える、小児期からの慢性疾患との付き合い方」
～小児期における主体的医療参加を促す CLS とは？～

■日時

2019年8月30日(金) 17:30～19:15(17:00 受付開始)

■会場

済生会横浜市東部病院 3階多目的ホール

■進行

17:30～17:40 「CLS の役割と重要性」 済生会横浜市東部病院こどもセンター CLS 井上 絵未

17:40～19:00 映画上映「子どもが教えてくれたこと」

19:00 閉会

19:00～19:15 質疑応答(来場メディア向け)

■アクセス

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1



<交通のご案内>

■車の場合

東京方面から:首都高速道路「浜川崎IC」または「汐入IC」出口をご利用ください。

横浜方面から:「岸谷生麦IC」または「子安IC」出口をご利用ください。

※上記 IC いずれからも当院まで約15分。「新鶴見橋西側」交差点をお入りください。



【登壇者紹介】



済生会横浜市東部病院こどもセンター CLS 井上 絵未

2002 年 立教大学コミュニティ福祉学部卒業

2007 年 米国カリフォルニア州ラバーン大学大学院教育学部チャイルド・ライフ専攻修士課程修了

大学院在学中、米国カリフォルニア州にある小児病院で 720 時間(およそ半年)のチャイルド・ライフの実習とインターンシップを経験。在学中、病院や病児キャンプでのボランティア活動に参加。

2007 年 Association for Child Life Professionals 認定チャイルド・ライフ・スペシャリストとなる。

2007 年 7 月より現職

2019 年 日本チャイルド・ライフ・スペシャリスト協会会長に就任

【上映映画概要】



■概要

病気と闘いながらも今を懸命に生きる子どもたちを描き、フランスで 23 万人の動員を記録したドキュメンタリー。腎不全、動脈性肺高血圧症、神経芽腫、表皮水疱症など、それぞれが病気を抱えている 5 人の子どもたち。彼らは治療を続けながら、毎日を楽しく、精いっぱい生きている。自身も病気で娘を亡くした経験を持つアンヌ＝ドフィーヌ・ジュリアン監督が前向きに生きる子どもたちの姿を映し出す。

■上映時間

80 分

※出典:「映画.com」HP(<https://eiga.com/movie/88838/>)

【済生会横浜市東部病院について】



当院は平成 19 年 3 月 30 日に開院しました。横浜市東部地域の中核病院として「医療を通じて生命(いのち)を守る」という理念のもと、常に一步先の急性期医療の提供を目指し、国が示す 5 疾病・5 事業の推進、並びに近隣の病院、診療所及び介護・福祉施設との連携体制の強化による、地域完結型医療の構築に努めております。救命救急センターを併設し、小児科救急、精神科救急を含む救急医療に積極的に取り組み、災害時には災害拠点病院としての機能を果たします。がん、心疾患、脳血管疾患等に対する高度専門医療についても、最新鋭の医療機器を導入するなど一層充実させてまいります。また、現場を離れている潜在看護師の復職支援など地域貢献にも積極的に取り組んでおります。³

3 出典: 神奈川県済生会「横浜市東部病院」(<https://skanagawa-saiseikai.jp/facility/10.html>)



済生会横浜市東部病院 広報事務局((株)オズマピーアール内)行

FAX:03-6677-1000

～小児期における主体的医療参加を促す CLS とは?～

“子どもと医療を結ぶプロジェクト” チャイルド・ライフ・スペシャリスト企画
「映画を通して考える、小児期からの慢性疾患との付き合い方」
ご取材のご案内

【日時】 2019年8月30日(金) 17:30～19:15(17:00 受付開始)

【会場】 済生会横浜市東部病院 3階多目的ホール

お手数ですが8月28日(水)までにFAXにてご返信ください。

□ご出席／□ご欠席

貴社名	
ご所属	
ご芳名	(他名)
カメラ	<input type="checkbox"/> 有(スチール / ENG) <input type="checkbox"/> 無
TEL	
FAX	
E-MAIL	
通信欄	

※ご記入いただいた個人情報は、お申し込みの受付や資料の送付、当日の運営、ならびに今後の同種イベントのご案内の目的で利用させていただき、それ以外の目的で利用しません。